

# いきいき

Ikiiki tu-shin

## 通 信

# 秋号

(10、11、12月号)

Vol.168

### ■まると上林の発表会！「上林フェスティバル」開催

11月2日(土)、上林小・中一貫校の体育館を会場に「上林フェスティバル」が開催、地元住民ら約200名が参加しました。この大会はいわゆる学習発表会のこと、同校の児童生徒が約半年間かけ、上林地区で暮らす“ふるさと先生”とともに体験学習した地域の自然・歴史・文化など自分たちの身近にある地域の宝についての学びを豊かに表現した、素晴らしい発表でした。

上林太鼓で勢いよく幕開けした後、小林昌宏校長が「上林小・中一貫校では『ふるさと教育』を推進し、「地域とともにある学校」をスローガンとして掲げており、ふるさとを愛する心優しい子どもたちが育っています。」と挨拶。発表のトップバッターとなった小学1・2年生は、とち餅や梅干等の製造に携わる“ふるさと先生”を取り上げた「ええじゃないか！上林！」を上演しました。続いて3年生がマニアックな世界を掘り下げて紹介する某テレビ番組を模した「3年生の知らない世界～in 上林」を披露し、4年生は「水源の里自然大学へようこそ！」と題し、水源の里の豊かな自然環境を京都府立大学の教授の講義と現地観察で学ぶ「水源の里自然大学(中面に3～5回の概要を掲載)」での学習を報告しました。

5年生は「上林戦隊 農業を守るんジャー」として、農業を営む方々から聞き取ったことを、演劇に仕立てて紹介し、続いて6年生が奥上林と京都府立大学が連携し取り組んだ君尾山の調査をまとめた「6年生と行く～君尾山の旅へ～」を披露しました。その後、PTAや小学生による合唱が披露され、中学生による太平洋戦争を追体験する様子を描いた演劇「私の青空」が上演されました。

最後に中学生代表が「上林フェスティバルに向けたふるさと学習で、はじめて取り組むこともありました。これからもふるさと上林を大切にして、誇りを持てるように沢山学習していきます。小中学生一丸となって頑張りますので、応援よろしくお願いします」と元気に締めくくり、会場は大きな拍手に包まれていました。



ヒメザゼンソウの英名をクイズに出す4年生(正解はスカンクキャベツ)



フェスティバルの感想を聞きながら参加者と交流を深める

## ■「水源の里自然大学」の中で府立大学教授らの「伝えなかったこと」

上林フェスティバルの中で小学4年生の児童3名が題材とした「水源の里自然大学」。この取り組みは、あやべ水源の里連絡協議会と京都府立大学が連携し、上林地区の水源の里4集落を舞台に「水源の里を守る意義と価値」をテーマに計5回に渡って講演したものです。

いずれも専門的視点から水源の里が守ってきた里山の価値や、人と自然の営みの意義を再発見させるものでした。

### 【報告】「水源の里自然大学」で語られたこと

#### 【第3回水源の里自然大学】 講師:大迫 敬義 講師

- “しぜん”とは何だろうか?と考えたとき、砂漠や氷河など、ほとんど人とかかわらない “しぜん”もある。水源の里のような人と関わる “しぜん”のことを「里山」という。「里山」では、山から材料や燃料、肥料、飼料を得て、牛やイネを育ててきた。そこには「人の活動が育む生物多様性」があった。
- アワやダイズなど作物は、それぞれエノコログサとツルマメから、人が手を加えて生み出してきた。つまり、人と生物の関わり合いから生まれた。よしず等の材料になる宇治川に生えるヨシ、人の手が入る(利用する)ことで地面に光が入り込み、カタクリやエイレイソウが生息できる。これも「人と自然の関わり合い」から生まれるもの。



ヒトも“しぜん”の一部と話す大迫講師

#### 【第4回水源の里自然大学】 講師:糟谷 信彦 助教

- 日本には広葉樹約190種、新緑樹8種が自生し、計61科109属が存在している。
- 広葉樹は、フローリングや合板、集成材、化粧箱、パルプなどに使われている。また広葉樹材は木目の美しさや年輪模様の複雑さが好まれ高級家具や建具として利用され、価値が高い。
- 古屋に多く自生するトチについては、縄文時代の遺跡から実や種皮が見つかり、この当時からあく抜き技術があった可能性がある。また木材としてはち密で加工が容易。特に杓(もく。複雑な模様を描き、希少なもの)のあるものは高価。1,000本近く古屋に残っているのは、やはり先人が残してくれていたからだろう。



枅の木の性質を紹介する糟谷先生

#### 【第5回水源の里自然大学】 講師:桂 明宏 教授

- 1960年頃(昭和40年頃)までは、薪炭から化石燃料への移行や、農業方式の変化、木材価格の低迷により木林の経済的価値が下がった。しかし現在では生物多様性や地球環境の保全、水源地涵養に加え、文化やレクリエーション機能など、山の持つ価値が「森林の多面的機能」として見直されつつある。
- その価値は年間70兆円にもなり、主要自動車企業9社の売上高合計額の68兆円と同じくらいのものになる。
- 森林の機能は「人が山に手を入れること」で維持されている。人が生きるためには水が必要だが、水が確保できるのは、山があるから。まさに「上流は下流を思い、下流は上流に感謝する」という言葉の通りである。
- 自然大学等を通し、「学ぶ」ことがそこにあるものの見方を変えてくれると思う。今後も自然大学の取り組みを継続していきたい。



この日は小・中学生約30名も聴講

◎水源の里・光野のヒメザゼンソウの共著論文がご覧いただけます。

桂先生ら5名と水源の里・光野の澁谷代表、福井事務局長らによる共著論文「綾部市・光野のヒメザゼンソウ自生地の発見・調査と保全活動に向けた取り組み」が公開されました！

右側のQRコードを読み取るか、と検索いただくと見つかります。ぜひご覧ください。



## ■逃げることの大事さ学ぶ「中上林秋の防災フェスティバル」開催

10月27日(日)観光センターで、初の取り組みとなる「中上林秋の防災フェスティバル」を開催。中上林住民ら約50名が参加しました。平成30年7月豪雨をはじめとする気象災害は規模を拡大し、甚大な被害を及ぼしています。そうした自然災害から身を守るため、防災意識の向上が求められています。

この日、綾部市防災・危機管理課の余田課長補佐が講演中、特に強調していたことは「市民の方々が逃げない」ことでした。今年9月30日に発生した台風24号では避難者数が綾部市全体で114人であったこと、7月豪雨の時でも111人だったことを示し避難率の低さを説明。中々避難に至らない理由として、「いつもと同じだろう」と感じてしまう「正常性バイアス(偏り、の意味)」があること、「避難しても無駄だろう」と考えることなどが挙げられると紹介。余田補佐は「たとえ100回の避難が無駄に終わっても101回目に難を逃れることもある。逃げる、という選択肢を持っていただきたい。」と避難の重要性を訴えました。



上林には急傾斜地域に指定されている場所が多いことを憂う質問も

そのほか、避難時に必要となる“3日分”の食料、水を無理なく準備する方法として、カップラーメンなど保存のきくものを買いだめしておき、時々食べ、食べた分を買い足す、「ローリングストック法」という日常生活でできる備蓄法を紹介しました。

講演会后、参加者は避難食として提供されるアルファ化米(お湯などを入れるだけですぐに食べられるお米)の試食もあり、災害への構えを考える機会となりました。

## ◎こんな便利な情報、あります。

上林川と上林地区の土砂災害の危険性を推し量るホームページをご紹介します。

### ●上林川の水位(川の高さ)を知る

管理番号	河川名	地名	所在地	最新観測時刻	内河川水位 (m)	警戒水位 (m)	決壊水位 (m)	変化量	変化率	危険度
大野子大	山内川	山内	綾部市山内町	2019/11/21 08:40	2.50	3.50				
福知山河川国道	山内川	地力田	綾部市地力町	2019/11/21 08:40	2.50	3.50				
福知山河川国道	山内川	地力田	舞鶴市上里	2019/11/21 08:40	2.50	3.50				
中丹東土木	上林川	大川橋	綾部市大川町	2019/11/21 08:40	1.60	2.00	2.00	0.40	25%	○
中丹東土木	山内川	山内	綾部市山内町	2019/11/21 08:40	1.10	1.50				
中丹東土木	山内川	山内	綾部市山内町	2019/11/21 08:40	1.50	1.70	2.00	0.20	12%	○
中丹東土木	伊佐津川	二ツ橋	舞鶴市大内	2019/11/21 08:40	1.50	2.00	2.50	0.00	0%	○
中丹東土木	山内川	山内	舞鶴市山内	2019/11/21 08:40						
中丹東土木	志保川	志保	舞鶴市志保町	2019/11/21 08:40	0.70	1.50	1.70	0.00	0%	○
中丹東土木	山内川	山内	舞鶴市山内	2019/11/21 08:40	1.00	1.00			0%	○
中丹東土木	山内川	山内	舞鶴市山内	2019/11/21 08:40	0.45	0.80				
中丹東土木	山内川	山内	舞鶴市山内	2019/11/21 08:40						

### ●土砂災害の危険性(土の中の水分量と危うさ)を知る

奥上林地域

中上林地域

→ホームページ(パソコン等)で見える場合

**水位現況表 中丹東土木** と検索

→ホームページ(パソコン等)で見える場合

**京都府土砂災害警戒情報** と検索し、地図をクリック

⇒その他、気象庁ホームページや綾部市ホームページでも防災情報の提供や防災ハザードマップ(綾部市土砂災害ハザードマップ)と検索し、奥・中上林の該当地区の名前をクリック)など、有効な情報があります。

### ■QRコードの使い方

①スマートフォンをご用意ください。

②カメラ機能を起動(アプリを起動)し、下記のQRを読み取ってください。

**注意:**スマートフォンの機種により、カメラ機能だけでは読み取れない場合があります。その場合は、インターネット機能を使い、文中の  の中のキーワードを入力し、検索してください。

なお、各HPのURLは予告無く変更される場合があります。

◎どの情報もあくまで「目安」です。これらの情報のほか、「いつもと違う、こんなことは初めて」といった状況を感じる事が大切です。判断の難しい場面が非常に多い「避難行動」ですが、「もしも」の行動が「あの時避難していたから」に繋がる

可能性が高くなります。

## イベント情報

### ●市野瀬の特産品特売会！「じねんじょ祭」開催

水源の里・市野瀬の特産品「自然薯」。高価な品として知られる自然薯を気軽に楽しめる「じねんじょ祭」が今年も開催されます。

地元産ごはんのとろろご飯のほか、普段市場に出回らないお買い得品も出品されます。ぜひお立ち寄りください。

【日時】12月14日(土)10:00～(なくなり次第終了)

【内容】・じねんじょご飯(100円/1杯)、自然薯各種

【問合せ先】水源の里・市野瀬 担当 中嶋 茂樹 氏

TEL.090(8985)8089



お客さんと対面できる貴重な機会と地元の方々も熱心に販売

### ●中上林クリスマスコンサート、今年も開催！

中上林地区冬の恒例お楽しみイベント、「中上林クリスマスコンサート」を今年も開催！おなじみ、Y&NGS68やソシアルズ、オカノザなど6組のバンドが冬の中上林を盛り上げます。また当日参加料は「歳末たすけあい」にも寄附されます。お誘い合わせの上、ご参加ください。

【日時】12月15日(日)17:00 開場

(17:30～演奏開始)

【問合せ先】中上林公民館 TEL. 0773(54)0002



今年も個性豊かなメンバーが出演予定

発行：上林いきいきセンター(綾部市 定住・地域政策課 水源の里・地域振興担当)

お問い合わせ：TEL.0773(54)0095 FAX.0773(54)0096 MAIL.teijyutiiki@city.ayabe.lg.jp

発行日：令和元年11月22日(金)

## 新商品情報

### ●「有安もち米」販売スタート！

水源の里・有安では、農村景観や農地保全のため、もち米を栽培しています。

これまでは他の水源の里集落等への提供に限定していましたが、このほど一般向け販売を開始します。

上林の水で育まれたおいしいもち米をついたお餅で新年を迎えられてみてはいかがでしょうか。

【販売場所】

#### ●「彩菜館」綾部店(JA本店横)

TEL:0773-43-0831

休業日：年中無休(年末年始は除く)

営業時間：9:00～16:30

【販売内容】もち米のうち米

2kg入り・・・1,100円、

3kg入り・・・1,650円 (いずれも税込価格)



収穫時期を迎え頭を垂れる有安もち米の稲穂

## いきいきセンターからのお知らせ

### ◎上林いきいきセンターの年末年始の業務について

上林いきいきセンターは12月28日(土)から1月5日(日)まで休業。6日(月)から通常業務となります。なお、バスの待合室側スペースは年末年始も通常どおりご利用いただけます。

今年も大変お世話になりました。来年もどうぞよろしくお願い致します。

FaceBook ページ「あやべ水源の里」もぜひご覧ください！

→「あやべ水源の里」と検索



次回発行は

2月21日

(予定)